

令和7年2月吉日

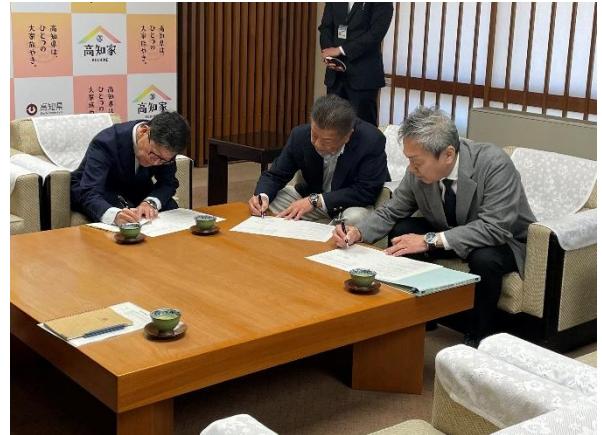
報道機関関係者各位

高知県社会福祉協議会・JVOADによる災害時支援に関する協定を締結

官民連携による被災者支援体制の強化に向けて

特定非営利活動法人（認定NPO法人）
全国災害ボランティア支援団体ネットワーク

【締結式の様子】



【概要】

高知県、高知県社会福祉協議会、全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOAD）は、災害発生時における被災者支援を円滑かつ効果的に進める目的として、2026年2月12日に「災害中間支援組織の設置及び運営等に関する協定」を締結しました。本協定により、平時からの連携体制を構築し、災害時における被災者支援活動の調整や情報共有を強化していきます。

【背景】

日本各地で頻発する自然災害に対し、行政やNPO等の支援団体が迅速かつ効果的に対応するためには、平時からの連携が不可欠です。高知県においても、今後の災害対応に備えて、支援の調整機能強化が求められていました。

今回の協定は、避難生活の支援や、復旧・復興プロセスの円滑化を促し、被災された方々の一日も早い生活再建に向けて、行政と社協とNPO等民間団体の協働体制の構築を目的としています。

JVOADは、都道府県域における災害中間支援組織をサポートする立場から、高知県および高知県社会福祉協議会との協定に加わることになりました。

また、本取組は、高知県社会福祉協議会とJVOADが協働で実施する「災害支援そなえ令和基金」の助成事業での、県内におけるネットワーク形成や官民連携の取組の一環として位置づけられるものです。

【協定の主な内容】

- ・多様な団体間の平時からの連携促進等を目的とする災害中間支援組織を設置
- ・平時からの関係構築および災害対応力の向上に向けた取組
- ・発災直後からの被災者への支援全般に関する協力

【今後の展開】

本協定に基づき、関係機関が連携しながら高知県の被災者支援体制の強化を図るとともに、平時からの顔の見える関係づくりや実践的な連携を進め、災害時における迅速かつ適切な支援の実現に努めてまいります。

【シンポジウムの開催】

協定の締結を契機として、官民連携による被災地支援のあり方や具体的な連携の進め方について広く共有し、関係団体の相互理解とネットワーク強化につなげることを目的として、シンポジウムを開催しました。

本シンポジウムは、県内における平時からのネットワーク形成を進めてきた取組を踏まえ、その意義や今後の連携の方向性を共有する場として実施したものです。

日時：2026年2月12日15時～17時

会場：ちより街テラス3Fちよテラホール（高知市知寄町2-1-37）

内容：

- 第1部「官民連携による被災者支援体制の構築」：協定を締結した三者から、高知県における被災者支援の体制、災害中間支援組織の今後の展望・取り組みについて議論を行いました。
- 第2部「多様な主体が連携して取り組む被災者支援」：高知県内の食事や外国人支援等、多様な分野で活動する支援団体と、災害支援ネットワーク参画への期待や目的、ネットワークとして目指すことについて意見交換を行いました。

登壇者：

- ・認定NPO法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOAD） 代表理事 栗田 暢之
- ・高知県子ども・福祉政策部地域福祉政策課 チーフ 備前 佑介氏
- ・高知県社会福祉協議会 高知県ボランティア・NPOセンター 所長 仙頭 正輝氏
- ・認定NPO法人日本NPOセンター 常務理事 田尻 佳史氏、他

【問い合わせ先】

特定非営利活動法人 全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOAD）

担当者：事業担当 鈴木、広報担当 石井

電話番号：080-5961-9213

メールアドレス：info@jvoad.jp